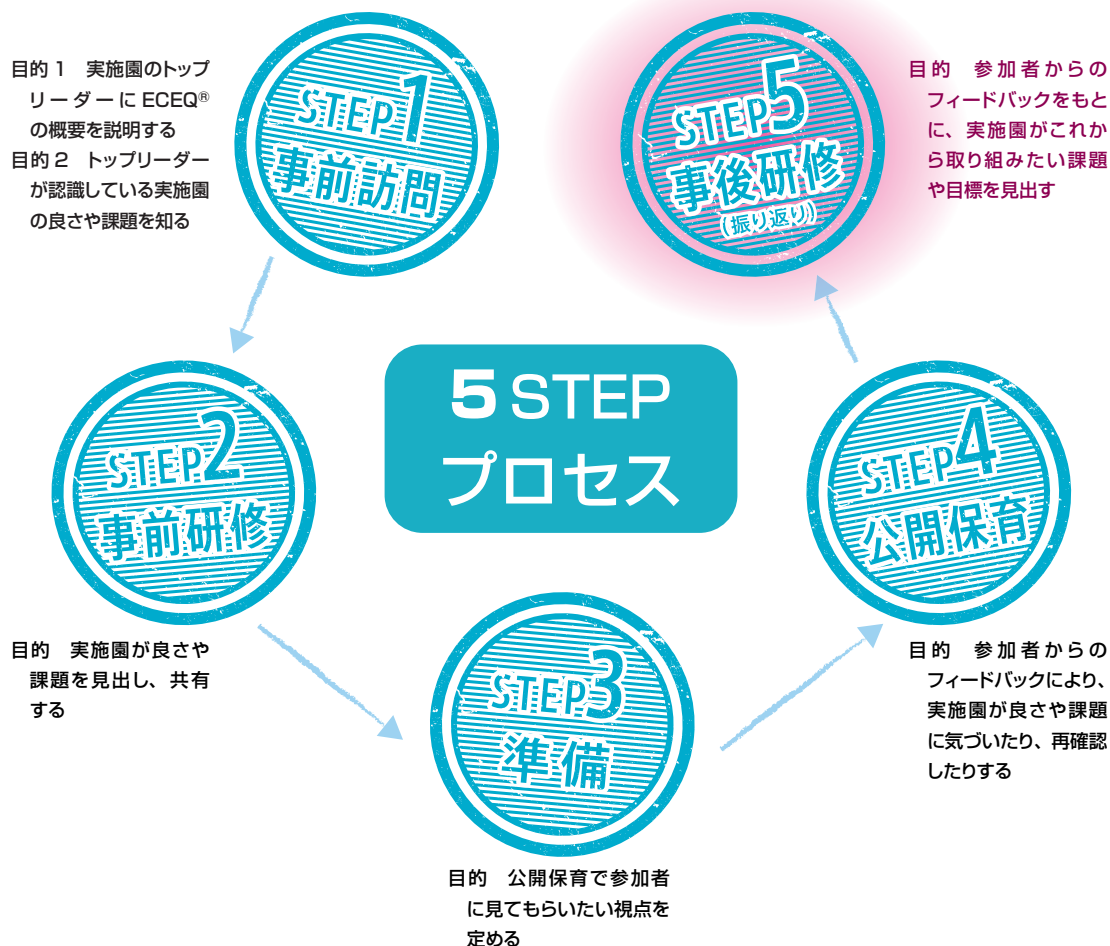


### ステップ 3-8 STEP5 事後研修とは

## 公開保育を振り返る、明日へのたいせつな STEP

STEP4 公開保育をやりっぱなしにしない ECEQ® の良いところである STEP5 事後研修は、公開保育で得たフィードバックを振り返り、実施園があらためて自園の良さや課題を知り、ECEQ® 後の園の質向上につなげるための重要な STEP です。実は ECEQ® 5STEP のなかで、もっとも ECEQ® コーディネーターの力量が試される場となります。なぜなら、公開保育で思ったようなフィードバックが得られなかったとしても、STEP4.5 で聞いたトップリーダーの意向や STEP4 公開保育後の実施園アンケートをもとに STEP5 のやり方を考え、実施園がこれから取り組みたい課題や目標を見出し、ECEQ® 後も実施園自らが主体的に質向上に取り組み続けるための「足場づくり」をする機会であるからです。『ECEQ® コーディネーターマニュアル』では課題を見つけ出す振り返りワークの例も複数あげています。実施園と相談してどのようなねらいでどのようなワークをするかを決めます。ここまで培った実施園との信頼関係があるからこそ、実施園に寄り添った充実した時間が得られる、ECEQ® コーディネーターとしても「やってよかった」と思える STEP5 にしましょう。



#### (1) STEP 5の目的・目標

##### 目的

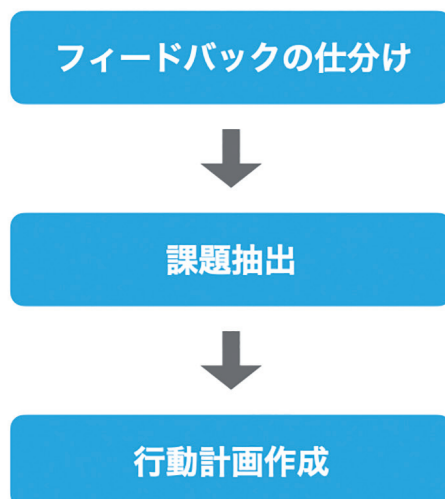
- ・STEP 4公開保育で得たフィードバックをもとに、これから取り組みたい課題や目標を見出し、ECEQ<sup>®</sup>後も自園の質を主体的に向上させていける道筋を見つける

##### 目標

- ・STEP 4公開保育で知った自園の良さや課題を園全体で共有する
- ・共有した良さや課題から新たな課題を見出す
- ・実施園がECEQ<sup>®</sup>後も主体的に課題に取り組めるような具体的な方法を知る

STEP5はSTEP4で参加者からもらったフィードバックを整理して、あらためて自園の目指す方向性や課題を見出し、質向上に取り組むための行動計画まで見通すことができればベストです。ECEQ<sup>®</sup>コーディネーターが実施園で園内研修を行うことが基本ですが、地区によっては距離や時間の制限によって実施園だけで園内研修をすることもあります。その場合も、ECEQ<sup>®</sup>コーディネーターは研修内容に責任をもって関わり支援していきます。

図表 3-11 : STEP5 の流れ



## (2) STEP5 の実際…事後研修内容

STEP4 のあと、実施園トップリーダーと ECEQ<sup>®</sup> コーディネーターチームで確認した STEP5 の計画内容で、公開保育を振り返ります。ここまで来れば、ECEQ<sup>®</sup> コーディネーターと実施園の保育者は、まるで同じチームの一員であるような親密感も生まれているかもしれません。しかし、油断は禁物です。ECEQ<sup>®</sup> コーディネーターは実施園に対して、最後まで敬意をもって接し、実施園がまんなかであることを忘れずに、支援役に徹する立ち位置を見失ってはいけません。良かれと思って指導したり操作的にふるまったりすることがないように留意しましょう。STEP5 では、実施園の保育者等が ECEQ<sup>®</sup> 終了後も、主体的に目指す方向性を定めたり課題に向き合えるような、具体的な園内研修の方法を伝えておくことが重要です。

### 置いて帰るのは、「魚」ではなく「釣り方」

これまでの STEP を通して実施園に愛着が湧き、課題が見えてきた ECEQ<sup>®</sup> コーディネーターは、しばしば「あなたがたの問題はこのようなことで、その答えはこうなんです」と善意から教えたくなる欲望が持ち上がってすることがあります。しかし、それでは実施園が自ら課題に取り組んだことになりません。ECEQ<sup>®</sup> の目的のひとつは「園として学校評価を持続的に実施し、教育の質を向上し続けていくための組織風土をつくりあげていくこと」です。魚を欲しがる人に魚を与えるのではなく釣り方を教える、という例があるように「その問題は、このようなフレームワークで解けるかも」と、実施園の保育者に「釣り方」を提案するのです。STEP5 で ECEQ<sup>®</sup> コーディネーターがすることは、「釣り竿やエサの使い方」を一緒に試してみること。ECEQ<sup>®</sup> コーディネーターは、そのときの実施園のプロセスをよく観察し、保育者が課題に対して主体的に取り組めるように支援します。ECEQ<sup>®</sup> コーディネーターは実施園にずっと関われるわけではありません。実施園には ECEQ<sup>®</sup> 後も新たな課題は生まれ続けます。今の課題の答えを教えられ納得したとしても、新しい課題に対応できなくなるかもしれません。STEP5 は、答えを見つける場ではなく、解き方を体験する場です。そのことを ECEQ<sup>®</sup> コーディネーターは肝に銘じておきましょう。

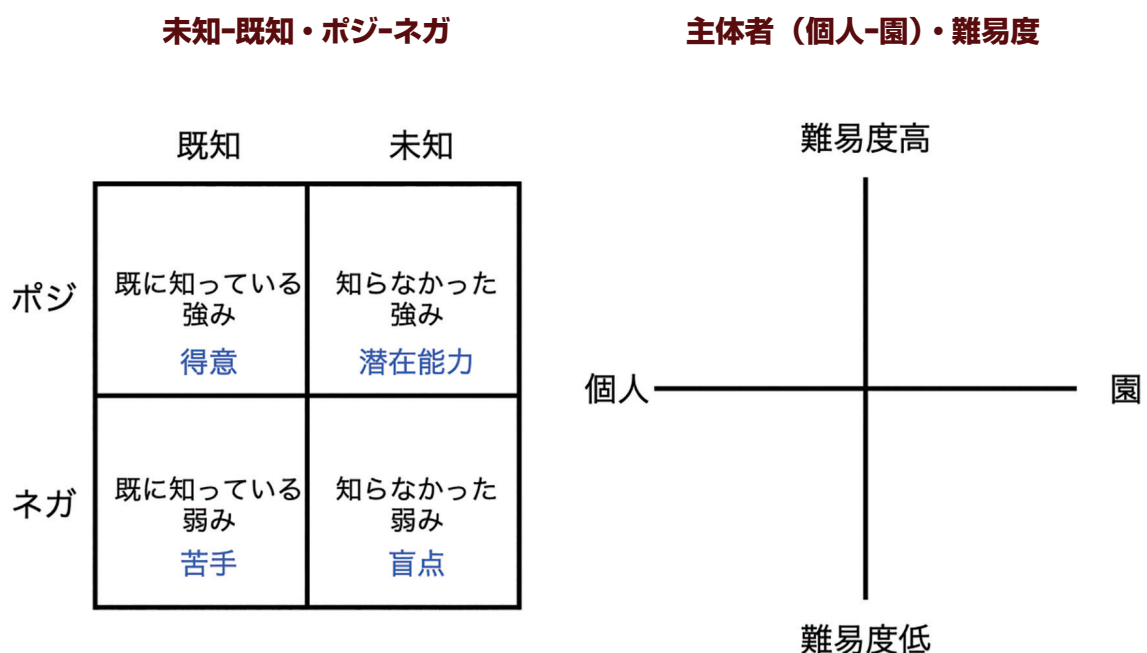
### (3) フィードバックを整理する振り返りワーク

STEP4 公開保育で参加者から得たフィードバックを精査して、これから取り組みたい課題や目標を見出していくことがSTEP5の標準的なやり方です。フィードバックされた付箋を直接用いる方法と、STEP4 公開保育を振り返りながら新たな気づき等を書き起こして仕分ける方法があります。

#### フィードバックされた付箋を直接マトリクスで仕分ける

フィードバックが書かれた付箋や分科会で話されたことの記録をあらためて読み、以下のような軸で仕分けて、今後の課題の取り組み方を考える方法です。付箋を直接用いる方法は手軽にできる反面、課題の抽出が抽象的になりがちです。仕分けた後に、さらに付箋に書かれている内容を精査する問いかけが必要となります。

図表 3-12：付箋の仕分け方例

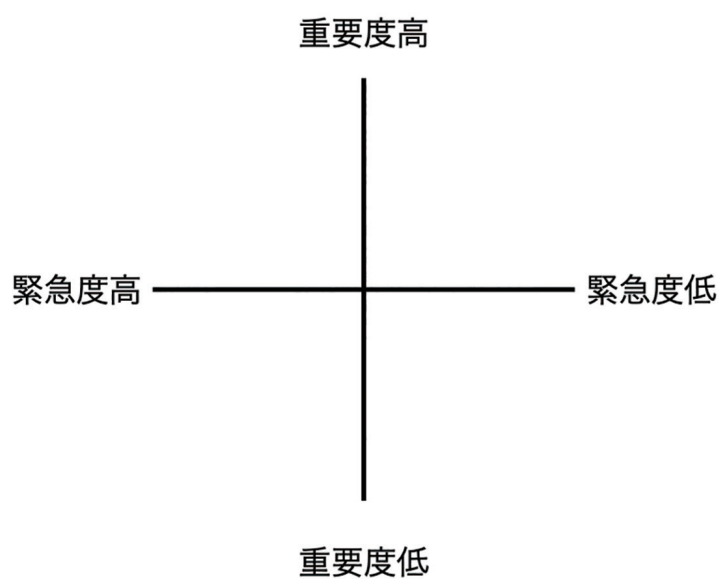


付箋をポジティブなフィードバックとネガティブなフィードバックに分け、それぞれ知っていたこと、知らなかったことに分ける。

付箋を個人で取り組む課題か、園で取り組む課題かに分ける。中心部分に、チームで取り組む課題の付箋を置く。それを難易度の高低で分ける。

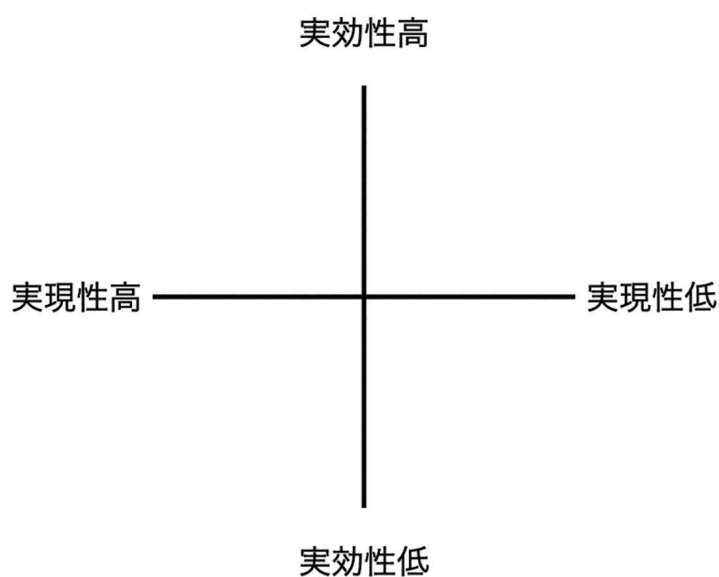
※ワークの詳細は『ECEQ® コーディネーターマニュアル』を参照

### 重要度・緊急度



付箋を重要度と緊急度の高低に分ける。

### 実効性・実現性

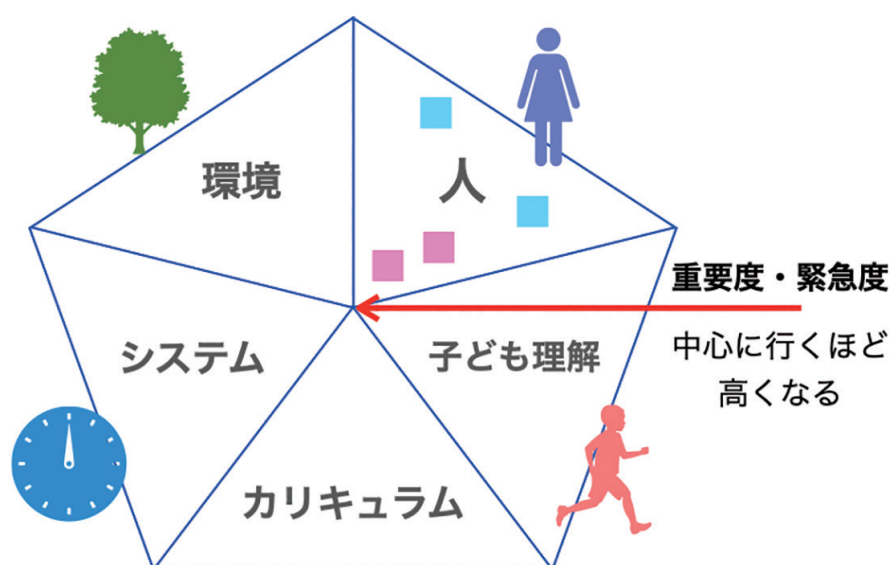


付箋を実効性と実現性の高低に分ける。

## 5要素分類

STEP 4公開保育でもらうフィードバックは、おおむね「人」「環境」「子ども理解」「システム」「カリキュラム」の5つの要素に分けることができます。まずはこの5要素に付箋を分けて実施園の今を俯瞰し、それぞれの中でさらに重要度や緊急度を測って取り組む課題の優先順位を決めたり、強みや弱みを知っていったりすることができます。こうして客観的に分析してみることで、新たな課題が見つかったり自園やチームへの理解が深まったりします。普段行っている自己評価が形骸化していたり、あまり気づきがなかった園にとっての「はじめの一步」を踏み出すワークとしては適しているといえるでしょう。

図表 3-13：フィードバックの5要素



何についてか	重要度高い	重要度低い
人（保育者）		
環境		
子ども理解		
システム		
カリキュラム		

「重要度」は、「緊急度」や「関心度」、「園長・リーダー・現場」などさまざまな項目に置き換え可能です。これらの表や図に決まりはありませんので、自由な発想で実施園にあった項目を立ててみるのが大切です。

#### (4) STEP5 をどのように終えるか

STEP1 から始まった ECEQ<sup>®</sup> の長かった旅もこれで終着です。STEP5 の最後には、ECEQ<sup>®</sup> コーディネーターは実施園の保育者に ECEQ<sup>®</sup> の全ての STEP が完了することをあいさつで述べ、最後までやり遂げた事に対して心からの敬意を示しましょう。また実施園のトップリーダーには、「実施園記録」の書き方(第4章参照)をお伝えし、その後メイン ECEQ<sup>®</sup> コーディネーターが「ECEQ<sup>®</sup> コーディネーター報告書」を作成・提出し、すべてが完了すると全日本私立幼稚園幼児教育研究機構から「ECEQ<sup>®</sup> 実施認定証」が送られてくることを説明します。実施園の保育者たちの表情はいかがでしょうか。STEP2 で初めて出会った頃から変容が見られるでしょうか。ECEQ<sup>®</sup> コーディネーターチームは、今回の ECEQ<sup>®</sup> の振り返りをすることも大切です。

図表 3-14：STEP5 後の流れチャート

#### STEP5 が終わったら

##### STEP5 後の流れ

- ▼  
「実施園記録」を作成（実施園）し、ECEQ<sup>®</sup> コーディネーターに送付
- ▼  
「ECEQ<sup>®</sup> コーディネーター報告書」を作成（メイン ECEQ<sup>®</sup> コーディネーター）し、実施園に送付し確認を得る
- ▼  
「実施園記録」と「ECEQ<sup>®</sup> コーディネーター報告書」の両方の原本を実施園が都道府県私立幼稚園団体に送付
- ▼  
都道府県私立幼稚園団体は、「実施園記録」と「ECEQ<sup>®</sup> コーディネーター報告書」をデータで全日本私立幼稚園幼児教育研究機構に送付し、原本は保管しておく
- ▼  
全日本私立幼稚園幼児教育研究機構がデータを受理し、「ECEQ<sup>®</sup> 実施認定証」を発行
- ▼  
「ECEQ<sup>®</sup> 実施認定証」が実施園に届いて完了



## まとめ

### 公開保育を振り返る、明日へのたいせつな STEP

#### ☐ STEP5 とは？

ECEQ® 後の園の質向上につなげるための重要な STEP

STEP 4公開保育で得たフィードバックをワークを通して振り返る

#### ☐ STEP5 の目的は？

ECEQ® 後に取り組みたい課題や目標を見出し、自園の質を主体的に向上させて  
いける道筋を見つける

#### ☐ STEP5 で ECEQ® コーディネーターが心がけることは？

答えを与える場ではなく、解き方を体験する場。園が主体的に目指す方向性を  
定めたり、課題に向き合えたりするような手立てやワークを提案し支援する

#### ☐ STEP5 のゴールは？

実施園が ECEQ® 後も主体的に課題に取り組めるような道筋をつける



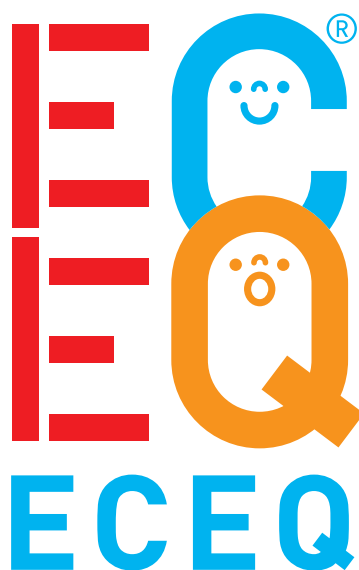
# ECEQ<sup>®</sup> コーディネーター テキストブック&マニュアル

## ECEQ<sup>®</sup> Coordinator TextBook & Manual

### 第4章 実施園記録と

### ECEQ<sup>®</sup> コーディネーター報告書

4-1 実施園記録と ECEQ <sup>®</sup> コーディネーター報告書	86
4-2 実施園記録	87
4-3 ECEQ <sup>®</sup> コーディネーター報告書	89
4-4 ECEQ <sup>®</sup> の完了	91



Early Childhood  
Education  
Quality System.

全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

## 4-1 実施園記録と ECEQ® コーディネーター報告書

### 記録から始まる、新たな旅

STEP5までが ECEQ® の核心である ECEQ® コーディネーターのナビゲートによる実施園にとっての研修段階。全STEPが完了したらECEQ® 全体を実施園とECEQ® コーディネーターが双方で記録します。実施園は5STEPを振り返って「実施園記録」を作成し、ECEQ® コーディネーターは実施園記録を参照して「ECEQ® コーディネーター報告書」を作成します。作成した「実施園記録」と「ECEQ® コーディネーター報告書」を都道府県私立幼稚園団体経由で全日本私立幼稚園幼児教育研究機構に提出し、認証されれば「ECEQ® 実施認定証」が実施園に発行されます。これをもって ECEQ® の全段階が完了することとなり、実施園は新たな幼児教育の質向上の旅に向かうのです。実施園記録や ECEQ® コーディネーター報告書は、「ECEQ® 実施認定証」を申請したり施設関係者評価加算を申請したりする根拠となる大切な書類となりますので、期日や書式を守り丁寧かつ簡潔に仕上げましょう。

図表 4-1：実施園記録

ECEQ® 実施園記録	
主簿	
令和 年度	ECEQ® 実施園記録
作成日 年 月 日	
作成者	
基礎情報内容	実施園情報
法人名	
理事長名	
園名	
園長名	
担当者名	
住所	
電話番号	
FAX 番号	
メールアドレス	
園児数	
学級数と人数	
教職員数	
メインコーディネーター名	
サブコーディネーター名	
各 STEP の実施履歴	STEP 1 年 月 日 ( ) : ~ : STEP 2 年 月 日 ( ) : ~ : STEP 3 年 月 日 ( ) : ~ : STEP 4 年 月 日 ( ) : ~ : STEP 5 年 月 日 ( ) : ~ :

図表 4-2：ECEQ® コーディネーター報告書

ECEQ® コーディネーター報告書				
主簿				
令和 年度	ECEQ® コーディネーター報告書			
作成日 年 月 日				
作成者				
実施園園長確認署名				
基礎情報内容	実施園情報			
法人名				
理事長名				
園名				
園長名				
担当者名				
住所				
電話番号				
FAX 番号				
メールアドレス				
園児数				
学級と人数				
教職員数				
メインコーディネーター名	氏名	co-No.		
サブコーディネーター名	氏名	co-No.	氏名	co-No.
各 STEP 実施履歴	STEP 1 年 月 日 ( ) : ~ : STEP 2 年 月 日 ( ) : ~ : STEP 3 年 月 日 ( ) : ~ : STEP 4 年 月 日 ( ) : ~ : STEP 5 年 月 日 ( ) : ~ :			

## 4-2 実施園記録

### 実施園による実施園のための振り返り記録

#### 実施園記録の目的・目標

##### 目的

- ・実施園が ECEQ® 全体を振り返り自園の「研修記録」として作成する
- ・ECEQ® 完了を第三者に証明する記録となるように作成する

##### 目標

- ・実施園自身の振り返り記録となるよう、各 STEP ごとに記載する
- ・公的書類として通用する記録を作成する

ECEQ® コーディネーターは実施園が研修記録として保存できるように、「実施園記録」の書式を実施園に示し書き方を伝えます。実施園記録の書式は、実施園が各 STEP の振り返りを端的に記入できる様式になっていますので、ECEQ® コーディネーターは内容が書式に沿って書かれているかを確認します。留意点としては、実施園記録には各 STEP の実施写真を必ず掲載することです。ECEQ® コーディネーターや実施園がこれまで撮影してきた各 STEP の写真を使います。内容について ECEQ® コーディネーターは、書式に沿って書いてあれば実施園のありのままの記録を尊重し、確認するのは誤字脱字程度でよいでしょう。ここでも非評価・非操作で支援し、教授的な関わりにならないように留意します。

図表 4-3：実施園記録書式

ECEQ <sup>®</sup> 実施園記録	
<b>STEP1 事前訪問</b> (トップリーダー・ヒアリング)	
実施園参加者	
コーディネーター	
実施日時	
場所	
確認した自園の良さ・・・	
確認した自園の課題・・・	

ECEQ <sup>®</sup> 実施園記録	
<b>STEP2 事前研修</b> (現場の先生方との園内研修)	
実施園参加者	
コーディネーター	
実施日時	
場所	
確認した自園の良さ・・・	
確認した自園の課題・・・	
実施風景や成果物など (画像)	

ECEQ <sup>®</sup> 実施園記録	
<b>STEP3 「問い」づくり</b> (現場の先生方との園内研修)	
実施園参加者	
コーディネーター	
実施日時	
要した日数	
「問い」づくりで気づいたこと、感じたこと、思ったこと	
完成した「問い」	

ECEQ <sup>®</sup> 実施園記録	
<b>STEP4 公開保育</b>	
実施園参加者	
コーディネーター	
実施日時	
分科会数と各参加者数	
参加人数	
当日のスケジュール	
STEP4 で気づいたこと、感じたこと、思ったこと	
STEP4 の様子 (画像)	

ECEQ <sup>®</sup> 実施園記録	
<b>STEP5 事後研修</b>	
実施園参加者	
コーディネーター	
実施日時	
分科会数と各参加者数	
参加人数	
当日のスケジュール	
STEP5 で気づいたこと、感じたこと、思ったこと	
STEP5 の様子 (画像)	

ECEQ <sup>®</sup> 実施園記録	
ECEQ <sup>®</sup> 全体を通して気づいたこと、感じたこと、学んだこと	

## 4-3 <sup>イーセック</sup>ECEQ® コーディネーター報告書

### <sup>イーセック</sup>ECEQ® コーディネーターから実施園へのラブレター

#### ECEQ® コーディネーター報告書の目的・目標

##### 目的

- ・メイン ECEQ® コーディネーターがコーディネートした ECEQ® の全過程を、  
全日本私立幼稚園幼児教育研究機構に報告するために作成する

##### 目標

- ・実施園の ECEQ® の成果を ECEQ® コーディネーターの視点で記録し報告する
- ・実施園が ECEQ® 後も主体的に自園で質向上に取り組む意欲につながるような  
書き方とする

ECEQ® コーディネーター報告書は所定の書式に沿って、原則メイン ECEQ® コーディネーターが作成します。量は表紙を除いて A4 サイズ 2 枚がベスト。多くとも 3 枚までに収めましょう。作成にあたっては、文字量ではなく書かれている内容の質を求めます。ECEQ® の各 STEP を振り返り、実施園がそれぞれの STEP で、どのような成果を得られたかを ECEQ® コーディネーターの視点でフィードバックを端的に記録します。写真は必要ありません。作成に際して最も力点を置く項目は「まとめ」です。実施園が ECEQ® を通してどのような成果を得たと理解したかを ECEQ® コーディネーターの視点で、評価者ではなくニュートラルな報告者であることに留意して心を込めて書きましょう。また、報告書はまずサブ ECEQ® コーディネーターにチェックしてもらい全員の了承が得られたら実施園に提出します。実施園のトップリーダーなどに読んでもらい、内容に過不足や正誤がないか確認していただき了承が得られたら、園長印を押した原本を実施園記録とセットで都道府県私立幼稚園団体に提出してもらいます。これで ECEQ® コーディネーターの仕事は完了となります。

図表 4-4：ECEQ® コーディネーター報告書書式

ECEQ® コーディネーター報告書				
令和 年度		主催 ECEQ® コーディネーター報告書		
		作成日 年 月 日		
		作成者		
		実施園園長確認署名		
基礎情報内容		実施園情報		
法人名				
理事長名				
園名				
園長名				
担当者名				
住所				
電話番号				
FAX 番号				
メールアドレス				
園児数				
学級と人数				
教職員数				
メインコーディネーター名	氏名	co-No.		
サブコーディネーター名	氏名	co-No.	氏名	co-No.
各 STEP 実施履歴	STEP 1	年	月	日 ( ) : ~ :
	STEP 2	年	月	日 ( ) : ~ :
	STEP 3	年	月	日 ( ) : ~ :
	STEP 4	年	月	日 ( ) : ~ :
	STEP 5	年	月	日 ( ) : ~ :

ECEQ® コーディネーター報告書	
<b>各STEPを通して</b>	
1. STEP1やSTEP2で抽出された自覚的な良さや課題	
2. STEP4で示された課題（「問い」）	
3. STEP4の参加者からのフィードバックで得た良さや課題	
4. STEPSにおいて整理された良さや課題並びに課題解決の方策	
5. まとめ	

## 4-4 イーセック ECEQ<sup>®</sup> の完了

### イーセック ECEQ<sup>®</sup> を終えて、 イーセック 実施園と ECEQ<sup>®</sup> コーディネーターが得るもの

「実施園記録」と「ECEQ<sup>®</sup> コーディネーター報告書」が全日本私立幼稚園幼児教育研究機構に受理され、実施園に「ECEQ<sup>®</sup> 実施認定証」が届くと、長かった ECEQ<sup>®</sup> の旅も終着点に着いたことになります。ECEQ<sup>®</sup> コーディネーターのあなたにとって今回の旅はいかがだったでしょうか。スリルに満ちた冒険？ わくわくのファンタジー？ それとも心が揺さぶられるヒューマンドラマ？ 心配性のあなたは、この期に及んで実施園のことが気がかりではないかと思っていますでしょうか。しかし、ECEQ<sup>®</sup> で ECEQ<sup>®</sup> コーディネーターができることはここまでです。ここから先は、実施園が主体的に「一人旅」に旅立たなければなりません。ECEQ<sup>®</sup> コーディネーターは、実施園が一人旅に出られるまでをナビゲートすることが使命です。園が主体的に、自園の幼児教育の質向上に向かって歩むことができるように支援するのが ECEQ<sup>®</sup> コーディネーターが目指すゴールです。実施園の究極の目標は、ECEQ<sup>®</sup> での経験を生かして幼児教育の質向上につながる園内研修を実施園自身で企画実施できるようになることです。

ECEQ<sup>®</sup> の各 STEP は、すべて園内研修といえます。ECEQ<sup>®</sup> コーディネーターは、そのやり方のモデルを示し、実施園に体験してもらいました。人は、体験したことは身につくと言われます。それでもまだ疑問や質問が実施園に湧いたら、いつでも尋ねられるような持続的な関係性を持つかどうかは ECEQ<sup>®</sup> コーディネーター自身が決めてください。実施園が「やってよかった」と思える ECEQ<sup>®</sup> だったなら、あなたは自分自身の ECEQ<sup>®</sup> コーディネート力に自信を持ってください。そして、ご自身の ECEQ<sup>®</sup> を振り返り、次回に備えましょう。

そうして場を重ねることで、自園にもその成果を還元することができ、自園の幼児教育の質向上にもきっと役立てることができると思います。ECEQ<sup>®</sup> コーディネーターは利他の心で実施園に関わることで、その利他が循環してあなたにも、自園にも、成果が還ってくるのです。これからもよい旅を！





### まとめ

記録から始まる、新たな旅

☐ 記録するものとは？

STEP5を終えたら、実施園は「実施園記録」を、メイン ECEQ<sup>®</sup> コーディネーターは「ECEQ<sup>®</sup> コーディネーター報告書」を作成する

☐ 記録の目的は？

実施園は ECEQ<sup>®</sup> の振り返りの記録として、ECEQ<sup>®</sup> コーディネーターは実施園へのフィードバックとして作成する

☐ 実施園記録で ECEQ<sup>®</sup> コーディネーターが心がけることは？

ECEQ<sup>®</sup> コーディネーターは、「実施園記録」を非評価・非操作で確認する

☐ ECEQ<sup>®</sup> コーディネーター報告書で ECEQ<sup>®</sup> コーディネーターが

心がけることは？

実施園が ECEQ<sup>®</sup> 後も主体的に自園での幼児教育の質向上に取り組む意欲につながるような書き方にする

令和5年3月

◆（一財）全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

令和4年度幼児教育施設の機能を生かした幼児の学び強化事業  
幼児教育施設における指導の在り方等に関する調査研究実行委員会

安家 周一	大 阪・あけぼの幼稚園
宮下友美恵	静 岡・静岡豊田幼稚園
加藤 篤彦	東 京・武蔵野東第一・第二幼稚園
岡本 潤子	青 森・千葉幼稚園
秦 賢志	兵 庫・はまようちえん
藪 淳一	北海道・大通幼稚園
櫛渕 洋介	群 馬・ちぐさこども園
永田 陽子	東 京・大和郷幼稚園
櫻井 喜宣	神奈川・さくらい幼稚園
波岡 千穂	富 山・堀川幼稚園
杉本 圭隆	大 阪・むつみ幼稚園
永宗 智子	岡 山・敬愛幼稚園
廣瀬三枝子	香 川・香川短期大学附属幼稚園
輿水 基	鹿児島・阿久根めぐみこども園

本テキストブックは、文部科学省の「幼児教育施設の機能を生かした幼児の学び強化事業」の委託費による委託業務として、一般財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構が実施した、令和4年度幼児教育施設の機能を生かした幼児の学び強化事業の成果を取りまとめたものです。

本テキストブックの複製、転載、引用等には文部科学省の承諾が必要です。